（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ヴィストカレッジ西金沢駅前			
○保護者評価実施期間	2025年11月25日	～	2025年12月8日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	12	（回答者数）	11
○従業者評価実施期間	2025年11月25日	～	2025年12月8日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	8	（回答者数）	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の児童にあった取り組みができている。	1対1支援において、児童のスキルと保護者からの情報を基に作成した個別支援計画に沿ってスタッフ一人一人が支援を行っている。	児童の日々の様子を確認することはもちろんのこと、保護者との情報共有も徹底していき、共通認識をもって支援を行っていく。
2	環境が整っている。	児童の特性に合わせて、ワークルームの机の配置やパーテーションを使用して児童が集中できる環境を整えている。	児童の成長に合わせて整えられた環境を少しずつ緩和させていき、より地域での暮らしに近いものにしていく。 時期によっては湿度が高くなることもあるため、除湿などの対応を行う。
3	状況に応じて臨機応変に対応することができる。	保護者の要望が変わったり、児童の状況が変わった際には、次回以降で支援内容を修正したり必要な情報を保護者に伝えたりしている。	児童・保護者から意見を出してもらいやすくなるように、普段から行っている児童・保護者対応を継続していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練等の実施内容が保護者の方に伝わりきっていない。	保護者への共有内容や媒体が限定化されている。	事業所内広報誌を有効に活用していき、事業所内での取り組み内容を保護者に周知していく。
2	園連携の取り組みが保護者に伝わりきっていない。	保護者への共有内容や媒体が限定化されている。	現在行っている事務所への張り紙の他、定期的にLINE等で発信を行い、家庭・福祉・教育の情報共有に努める。
3	保護者同氏のつながりの機会が少ない。	放デイの保護者会は今年度実施したが、児童発達支援向けの保護者会は実施していない。	母数が放デイよりも少ないため、できるだけ多くの保護者が参加できるよう、希望曜日や内容を聴取していき定期的な開催を目指す。